

造血幹細胞移植推進拠点病院事業の あり方について

厚生労働省健康局 難病対策課
移植医療対策推進室

日本造血細胞移植学会 COI 開示

筆頭発表者名：井内 努

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。

1. これまでの経緯

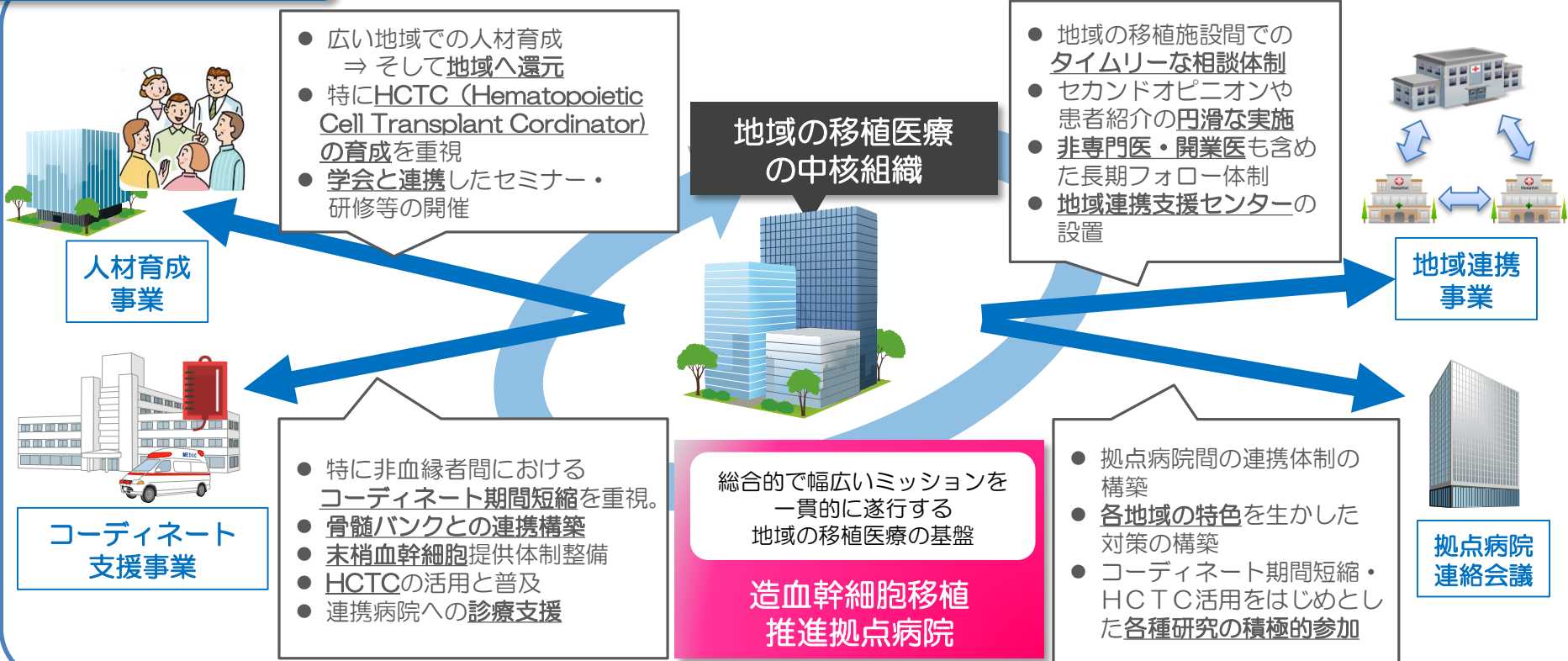
造血幹細胞移植医療体制整備事業

事業の目的

血液疾患患者全体の生存率の向上のために、

- 造血幹細胞移植を必要としている患者に対して、**適切な時期**に、**適切な種類**の移植を提供できる体制の構築。
- 将来的には、**どこの地域**においても、**誰でも、より安全に**受けることができる治療方法となることが目標。
- さらに、長期生存が得られるようになった際に、移植後のより良い**長期フォローアップ体制**を構築。

事業の内容



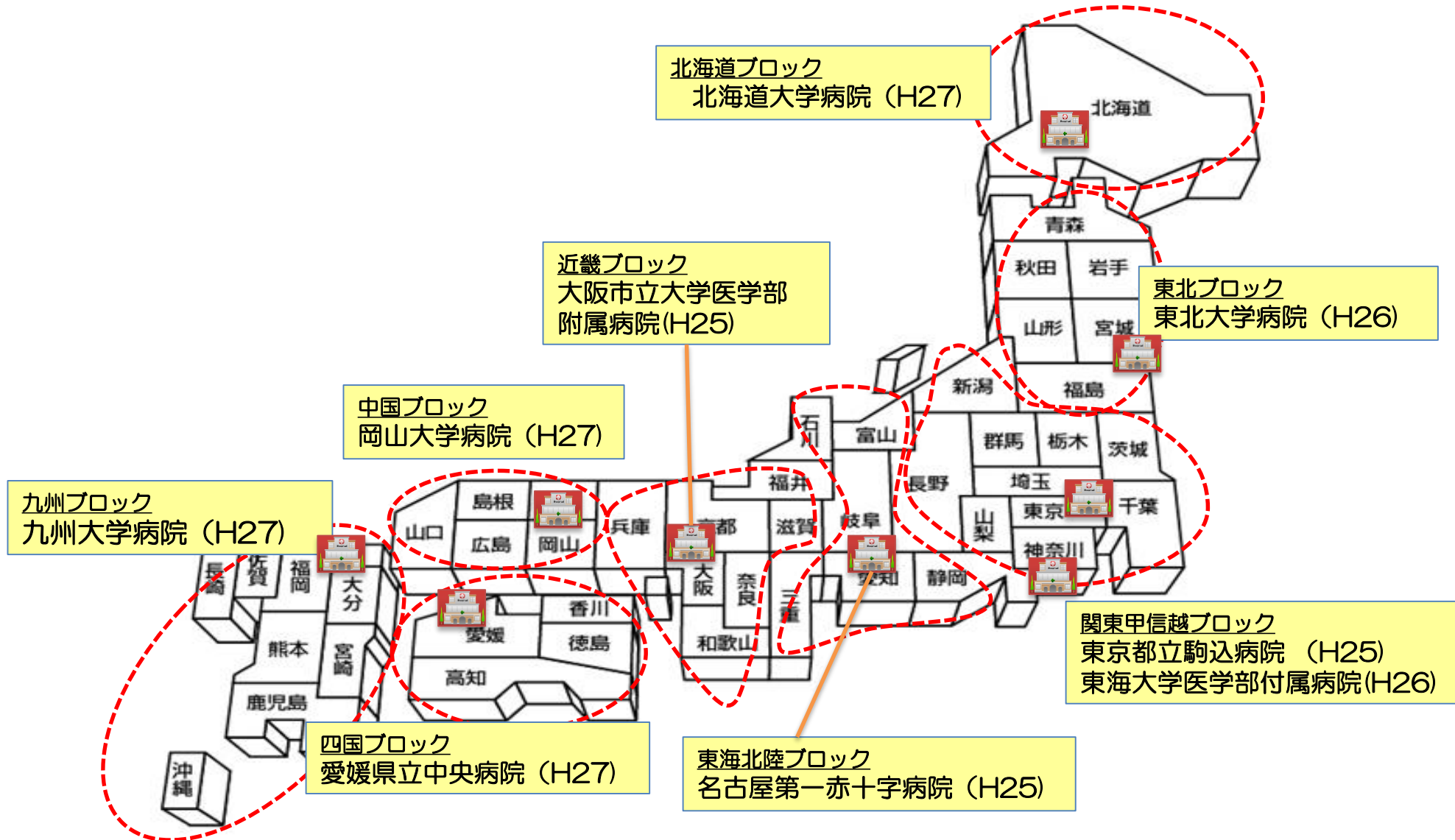
- 移植医療技術の均てん化
- コーディネート期間の短縮
- 各地域毎のネットワーク構築

安定的供給を達成

最終的に、造血幹細胞移植患者の生存率のさらなる向上へ

造血幹細胞移植推進拠点病院の現在の選定状況

現在、全国8ブロック9施設を選定（括弧内は選定年度）



2. 今後の拠点病院事業について

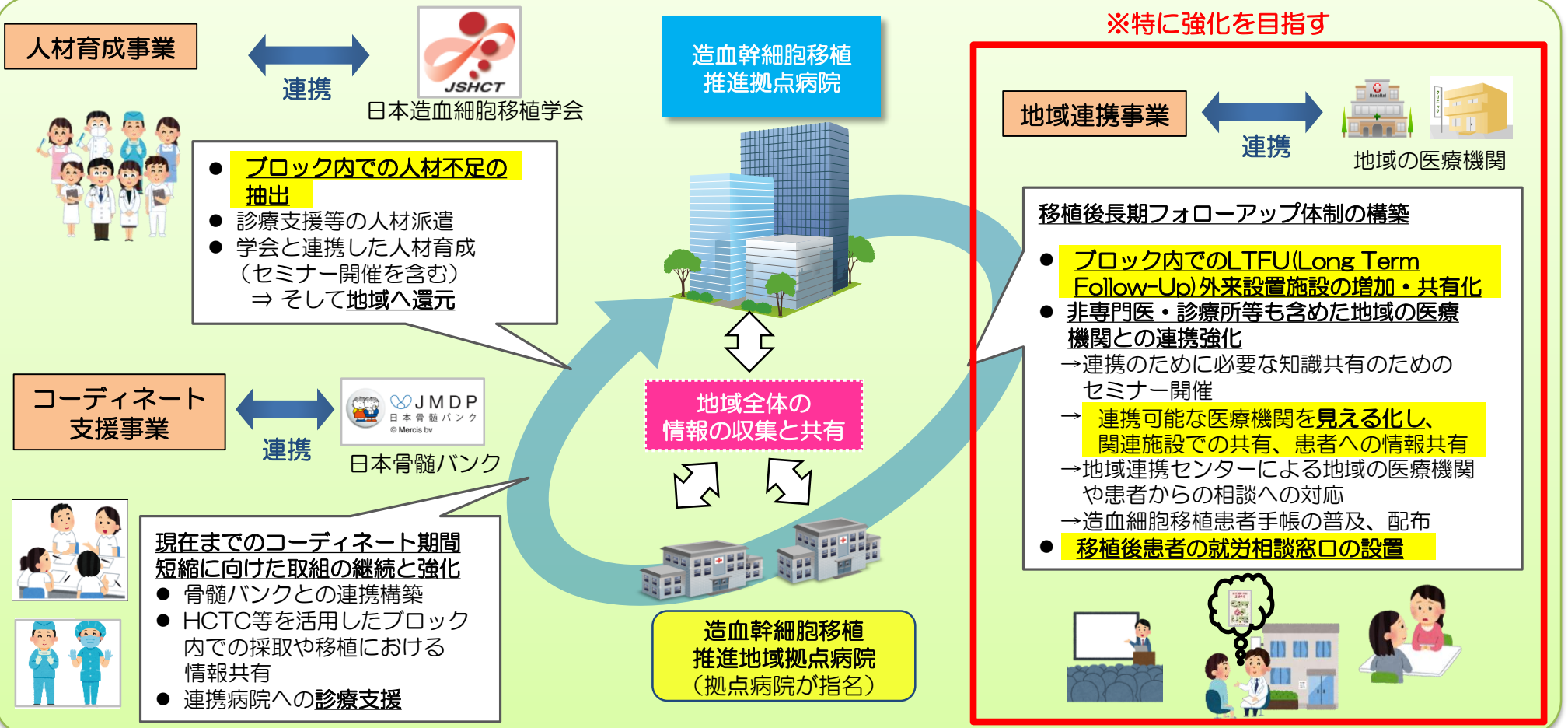
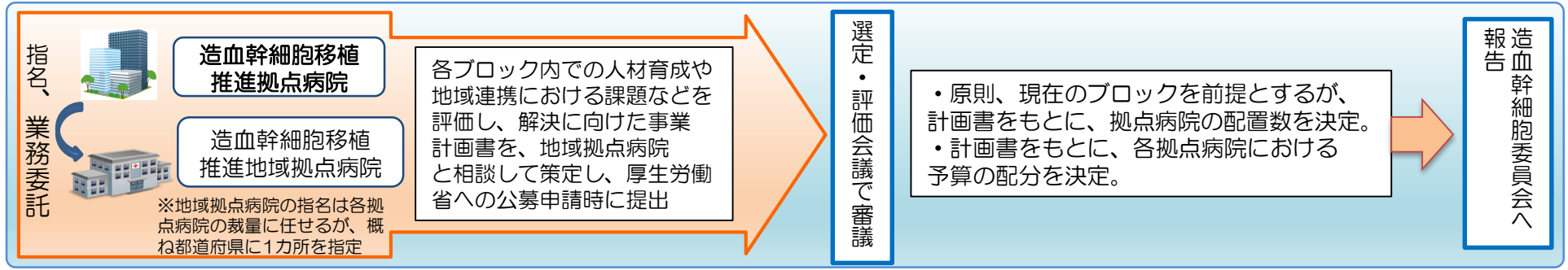
第5 2回造血幹細胞移植委員会における合意事項

造血幹細胞移植医療体制の目指すべき方向として、以下の4項目を満たす体制を構築することについて、了解をいただいたところ。

1. 造血幹細胞移植を必要としている患者に対して、**適切な時期**に、**適切な種類**の移植を提供できる体制
2. **どこの地域**にいても、**誰でも、より安全に**造血幹細胞移植を受けられることができる体制
3. 造血幹細胞移植を受けた患者が、移植後も生活の質を保ち、**長期フォローアップ**を受けられることができる体制
4. **新**造血幹細胞移植を受けた患者が、地域で安心して暮らしを続けていくことが出来るよう、関係者と連携して、**社会復帰できる環境整備**を支援する体制を、構築することを目指す。

今後の拠点病院事業の具体的な取組

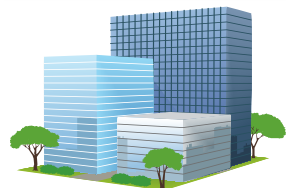
初年度



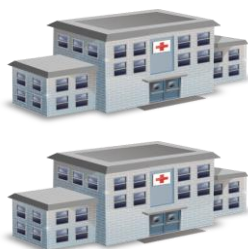
拠点病院選定後の事業取組の報告・評価の流れ

- ①拠点病院及び地域拠点病院は、年度毎に各事業の進捗状況を取りまとめ、次年度の計画書を作成して、厚生労働省に提出。
- ②厚生労働省は、提出のあった計画書を、選定・評価会議に付議。
- ③選定・評価会議において、各事業の計画書に基づいた進捗状況の評価するとともに、予算の配分を見直し、造血幹細胞移植委員会へ報告。
- ④造血幹細胞移植委員会で、事業報告をもとに移植医療の課題の解決に向けた方向性の確認。

造血幹細胞移植
推進拠点病院



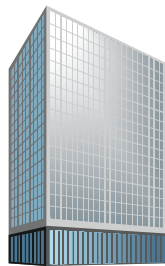
造血幹細胞移植
推進地域拠点病院



①



厚生労働省



③

選定・評価会議

○人材育成

- ・事業計画に則り人材育成が行われているか
- ・育成した人材は計画通り、配置されているか

○コーディネート期間短縮

- ・採取数が維持又は向上しているか
- ・期間短縮は進んでいるか

○地域連携

- ・連携医療機関が増えているか
- ・LTFU外来受診患者数は増えているか
- ・患者相談、就労支援は進んでいるか

②



④

造血幹細胞
移植委員会



最終的に、
造血幹細胞移植患者の
生存率、生活の質の
さらなる向上へ

これまでの拠点病院事業と比較した事業の変更点

- 人材育成事業、コーディネート支援事業、地域連携事業の3事業を引き続き行うが、各地域において必要な事業を優先的に行うこととなる。どの事業に注力するかについては、その事業について具体的に記載した計画書を公募の際に提出することとなる。
- 拠点病院を申請するための事業計画書を策定するにあたり、地域の情報を収集し、選定された場合は連携して事業を行う地域拠点病院を、候補病院が指名する。申請時には地域拠点病院名のリストも提出することとする。
- 拠点病院がカバーするブロックについては、原則現在のブロック割を前提とするが、候補病院が各自判断して申請することとする。最終的には選定・評価会議で調整を行い、日本全国が網羅されているようにする。
- 拠点病院が選定された後の事業評価は、公募の際に提出した事業計画書の進捗状況をもとに判断する。
- 各拠点病院事業の予算については、申請時の計画書ならびに事業評価をもとに選定・評価会議及び造血幹細胞移植委員会等での審議をもとに決定する。
- 地域連携、患者相談及び就労支援を強化する。

日本造血細胞移植学会にお願いした事項

- それぞれの地域での医療の現状を踏まえ、今後は、どのようなブロック割とすることが適切か、また、本事業をどのように進めていけばよいか、検討していただきたい。
- 各拠点病院が事業計画を実行するのに際して、必要な連携体制を構築していただきたい。

今後のスケジュール案について

2018年
8月

造血幹細胞移植委員会

過去の拠点病院事業の実績と課題を踏まえ、今後の拠点病院の方向性について議論

9月

造血幹細胞移植委員会

新しい拠点病院事業の具体的な取組や公募する上での要件などを議論

12月

公募要領・実施要項決定

2019年
1月

公募開始

〔6月28日締切〕

7月

第1回拠点病院事業選定会議

申請された計画書をもとに、拠点病院のブロックの区切りや数を見直し、最終的に拠点病院の選定候補の検討を行う

9月

第2回拠点病院事業選定会議

11月

拠点病院選定

造血幹細胞移植委員会

・新しい拠点病院の選定結果の報告。
・各拠点病院の事業計画の報告・議論

12月

交付要綱決定

2020年
4月

新拠点病院事業開始